

全体総括

○計画期間；平成21年12月～平成27年3月（5年4ヶ月）

1. 計画期間終了後の市街地の状況（概況）

認定された基本計画に基づき、目指す将来像を「人が輝き躍動するステージ」として、住む人が住む喜びと誇りを抱き、訪れる人が安らぎと親しみを感じて輝くまちを目指し、静岡県東部地域の拠点都市としての機能集積や狩野川などの地域資源を活用したにぎわいの形成などを中心に各事業を実施したところ、新たな集客施設の開設やまちなかでのイベントによるにぎわいの創出により、中心市街地の活性化に一定の効果があつた。

平成25年1月に西武沼津店が閉店し、市内から百貨店が姿を消すなど商業を中心として中心市街地を取り巻く環境は厳しい状況にあり、中心市街地の居住人口も増加傾向には至っていない。しかし、平成26年に会議場施設・ホテル・展示場などで構成される総合コンベンション施設プラサヴェルデの本格稼働や、近接する沼津商工会議所新会館の供用が開始するなど、新たな集客・回遊の拠点も創出され、効果指標のひとつである歩行者自転車通行量は増加傾向を示しており、まちなかのにぎわいや回遊性が取り戻されてきている。

2. 計画した事業は予定どおり進捗・完了したか。また、中心市街地の活性化は図られたか（個別指標毎ではなく中心市街地の状況を総合的に判断）

【進捗・完了状況】

- ①概ね順調に進捗・完了した ②順調に進捗したとはいえない

【活性化状況】

- ①かなり活性化が図られた
②若干の活性化が図られた
③活性化に至らなかった（計画策定時と変化なし）
④活性化に至らなかった（計画策定時より悪化）

3. 進捗状況及び活性化状況の詳細とその理由（2.における選択肢の理由）

計画した事業は、認定基本計画に記載した全98事業中、47事業が完了または終了、工事等実施中が4事業、ソフト事業など実施中が45事業、未着手が2事業となっている。

「交流人口の拡大」

中心市街地の歩行者自転車通行量は、平成23年まで減少傾向にあつたが、平成24年以降増加に転じている。これは、中央公園・狩野川河川空間のにぎわい創出の取り組みや静岡東部拠点第一地区土地区画整理事業の完了、キラメッセぬまづの開館など計画した事業の実施による効果が発現したものと考えている。さらに、平成26年度には、駅北地区で、プラサヴェルデのオープンや近接する沼津商工会議所新会館の供用が開始され、また、駅南地区では学校法人大原学園沼津校の開校や旧西武沼津店の跡地利用として「駅前にぎわい広場」がオープンするなど、駅周辺の土地利用の動きが活発化されており、目標値は達成されている。

「定住人口の確保」

計画に記載された取り組みのうち、静岡東部拠点第一地区土地区画整理事業、民間のマンション建設などの事業は、概ね順調に進捗し、定住人口の増加に寄与している。

しかしながら、沼津駅南第一地区土地区画整理事業に進捗の遅れが見られることや、東日本大震災以降マンションの新築がないことなどから、現状では目標達成に至らなかった。

4. 中心市街地活性化基本計画の取組に対する中心市街地活性化協議会の意見

【活性化状況】

- ①かなり活性化が図られた
- ②若干の活性化が図られた
- ③活性化に至らなかった（計画策定時と変化なし）
- ④活性化に至らなかった（計画策定時より悪化）

【詳細を記載】

沼津市中心市街地活性化協議会としては、行政、関係団体等と協議・調整しながら中心市街地の活性化を推進した結果、計画に位置付けられた事業は概ね順調に実施されたと考える。

基本計画の目標指標である「交流人口の拡大」については、中心市街地におけるにぎわい創出の取り組みや、商店街や民間団体などの連携強化により、数値目標は達成されており、一定の成果が得られたものと評価できる。

しかし、「定住人口の確保」については、一部事業の遅れや東日本大震災以降、マンションの新築がないことから、数値目標が達成できなかったため、今後の活性化推進に向けた課題となっている。

今後は、基本計画の取り組みの成果から、沼津市としてのコンパクトシティのあり方、魅力ある都市機能の再集積や居住を支える機能の強化を明確化し、町方町・通横町地区第一種市街地再開発事業など、居住に軸足を置いた取り組みを進めるとともに、鉄道高架事業の早期事業着手など、総合的な視点でのまちづくりを実施されたい。

最後に、基本計画の事業効果を活かしながら、今後、まちづくりの担い手の中心となる若い世代や、まちづくりに意欲のある市民等による組織を立ち上げ、引き続き官民一体となって中心市街地活性化に取り組む所存である。

5. 市民意識の変化

【活性化状況】

- ①かなり活性化が図られた
- ②若干の活性化が図られた
- ③活性化に至らなかった（計画策定時と変化なし）
- ④活性化に至らなかった（計画策定時より悪化）

【実施概要】

「中心市街地活性化」に関する市民意識調査

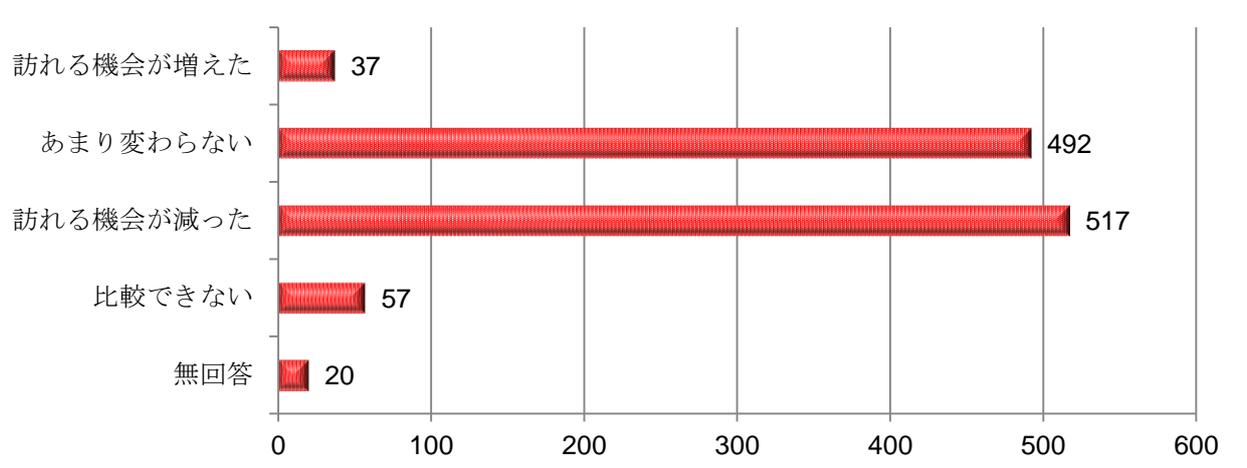
調査日：平成26年6月26日（土）～7月4日（金）

調査方法：沼津市全域の満20歳以上の市民2,100人を住民基本台帳データから等間隔無作為抽出しアンケートを郵送

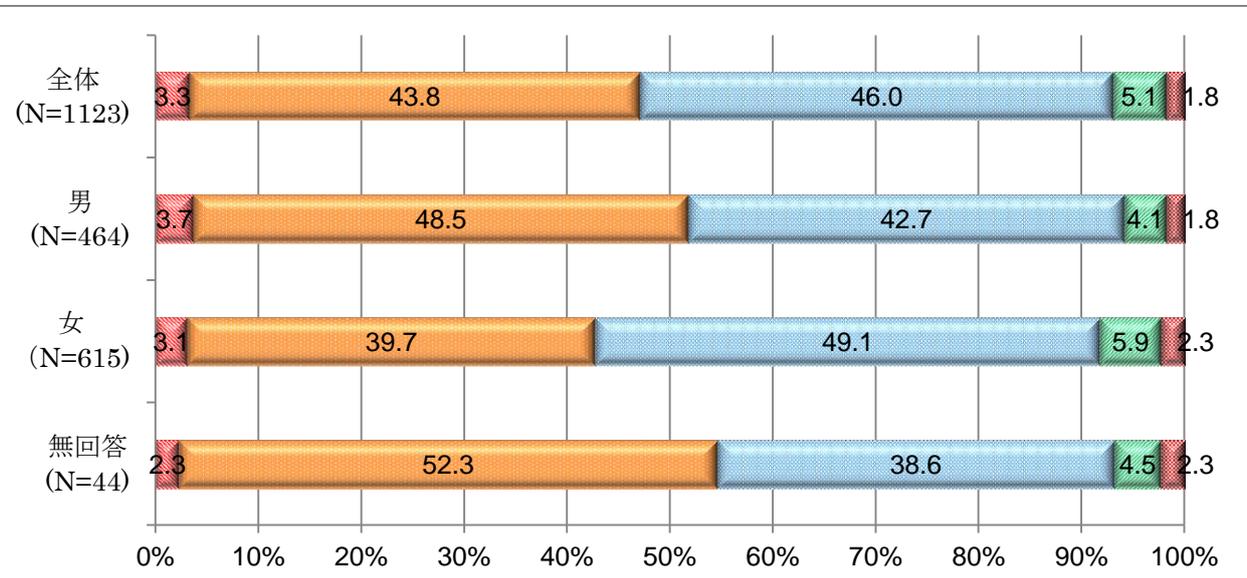
有効サンプル数：1,123人

- ① 中心市街地を訪れる頻度は？
 - ・「認定中心市街地活性化基本計画策定時の平成21年と比較して、沼津駅周辺の中心市街地を訪れる頻度はどのようになりましたか」の問いに対して、中心市街地を訪れる機会が「増えた」「あまり変わらない」と回答した割合が、全体では47.1%であり、「減った」の割合を上回っている。年代別では、60代以上の5割以上が「減った」との回答であるが、20代～40代の世代については、訪れる機会が「増えた」と回答した割合が、他の世代と比較して多く、若い世代ほど、中心市街地を訪れる頻度の増加傾向がうかがえる。

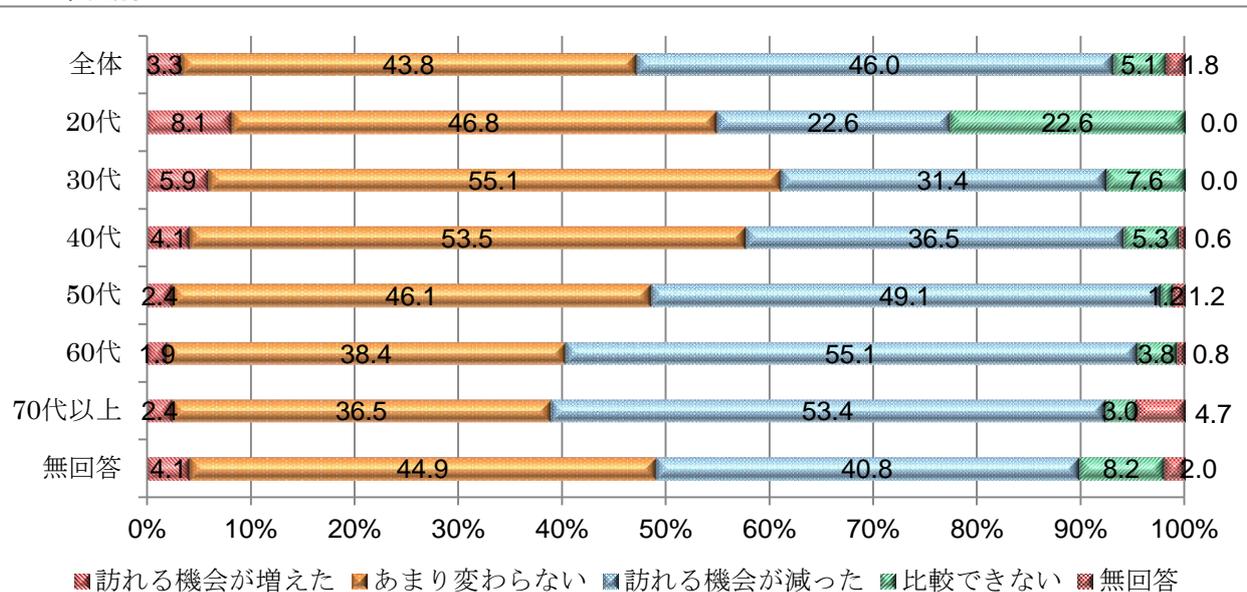
<全体>



<男女別>



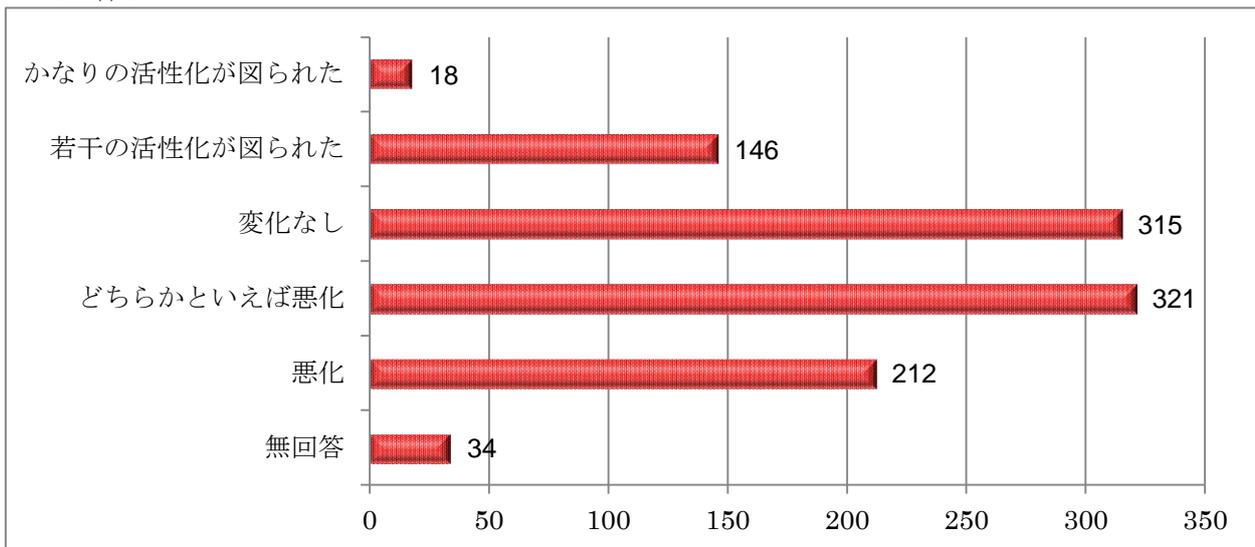
<年代別>



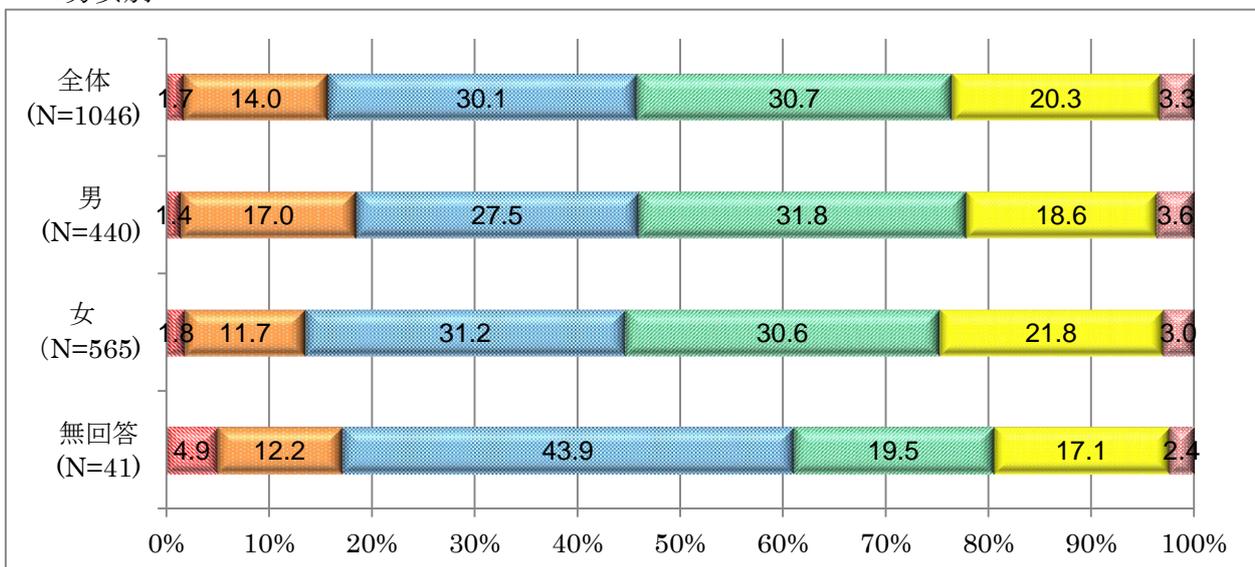
② 中心市街地の印象は？

- ・「認定中心市街地活性化基本計画策定時の平成 21 年と比較して、沼津駅周辺の中心市街地はどのようになったと感じていますか」の問いに対して、5 年前と比較して「かなり活性化が図られた」「若干活性化が図られた」「変化なし」と感じている人が全体で 45.8%、「どちらかといえば悪化」「悪化」が 51.0%を占めている。年代別では、かつて百貨店などがあり、来街者で賑わっていた頃の沼津駅周辺のイメージを知る年齢層で高い世代の多くが、「活性化が図られていない」と回答している割合が多いが、20代、30代の若い世代では、「活性化が図られた」「変化なし」が 5 割を越えている。

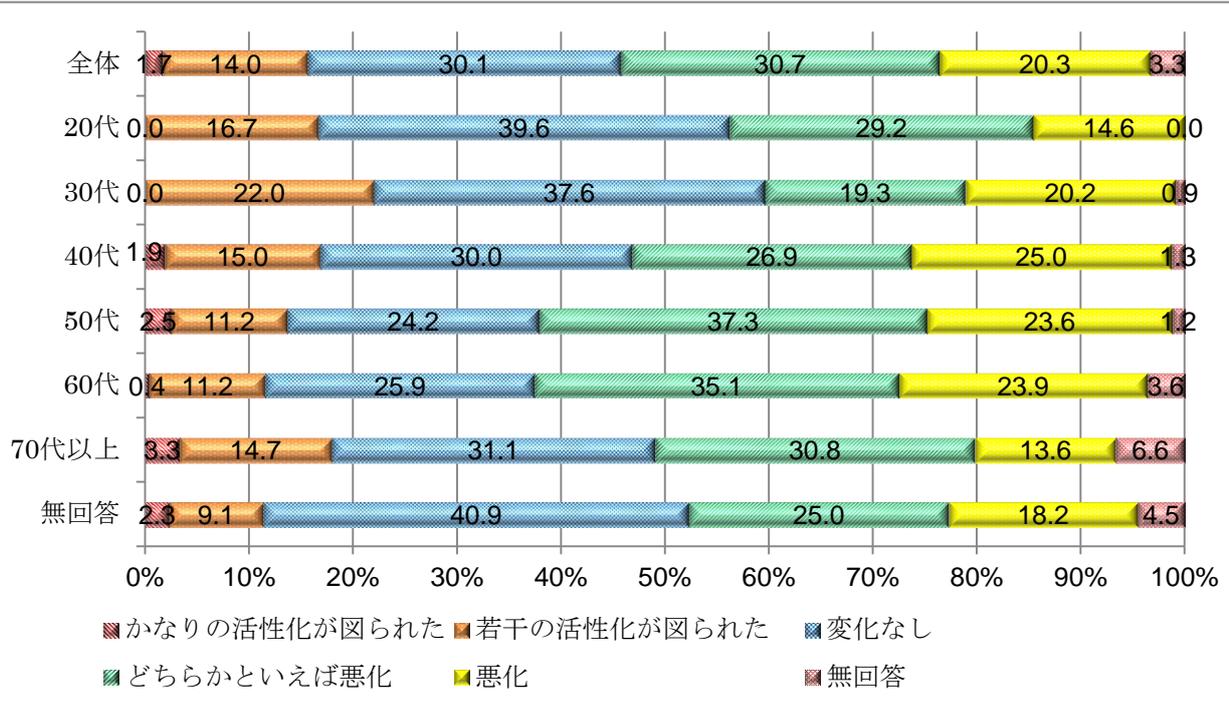
<全体>



<男女別>



<年代別>



6. 今後の取組

今後は、中心市街地のまちづくりの基本理念を「行きたくなる 喜らしたくなる 誇りたくなるまち」と規定し、「都市機能と魅力の集積」「川を活かしたまちづくり」「まちなか居住の促進」「回遊性の向上」「公共交通の利便性の向上」「協働のまちづくり」の6項目を基本方針として、中心市街地のまちづくりを推進していく。

(参考)

各目標の達成状況

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値		達成状況
				(数値)	(年月)	
交流人口の拡大	中心市街地の歩行者自転車通行量(日曜日)	75,112人 (H21.7)	76,700人 (H26.7)	77,841人	H26.7	A
定住人口の確保	中心市街地の居住人口	22,357人 (H21.3)	23,850人 (H27.3)	22,061人	H27.3	C

注) 達成状況欄 (注: 小文字の a、b、c は下線を引いて下さい)

A (計画した事業は概ね予定どおり進捗・完了。さらに、最新の実績でも目標値を超えることができた。)

a (計画した事業は予定どおり進捗・完了しなかった。一方、最新の実績では目標値を超えることができた。)

B (計画した事業は概ね予定どおり進捗・完了。一方、最新の実績では基準値を超えることができたが、目標値には及ばず。)

b (計画した事業は予定どおり進捗・完了しなかった。また、最新の実績では基準値を超えることができたが、目標値には及ばず。)

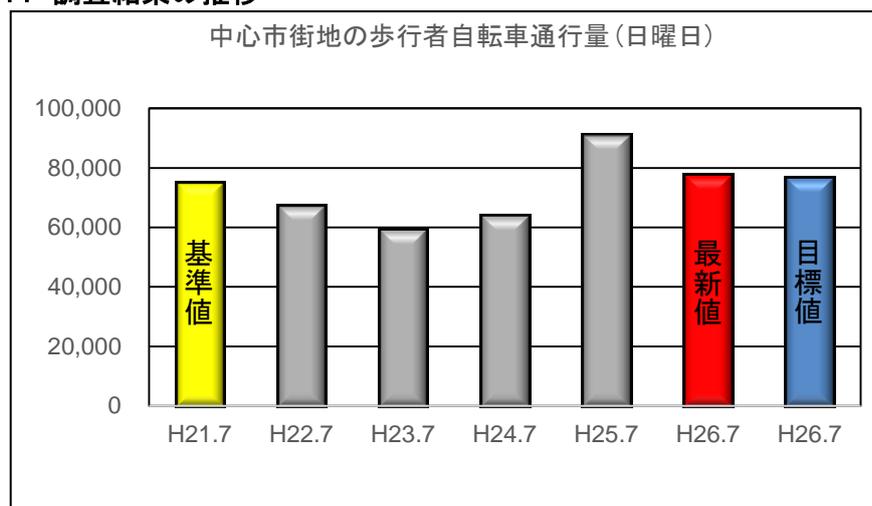
C (計画した事業は概ね予定どおり進捗・完了。一方、最新の実績では目標値および基準値にも及ばなかった。)

c (計画した事業は予定どおり進捗・完了しなかった。また、最新の実績では目標値および基準値にも及ばなかった。)

個別目標

「中心市街地の歩行者自転車通行量（日曜日）」※目標設定の考え方基本計画 P50～P56 参照

1. 調査結果の推移



年	(単位)
H21.7	75,112 (基準年値)
H22.7	67,521
H23.7	59,304
H24.7	63,887
H25.7	91,206
H26.7	77,841
H26.7	76,700 (目標)

※調査方法：歩行者通行量調査（毎年原則として7月第2日曜日）実施

※調査月：7月調査・取りまとめ

※調査主体：沼津市

※調査対象：中心市街地 12 地点を 9 時～19 時に通行する歩行者・自転車の数を計測

2. 目標達成に寄与する主要事業の計画終了後の状況（事業効果）

- ①. 沼津駅北拠点地区暮らし・にぎわい再生事業（展示イベント施設、市民交流施設、駐車施設）（沼津市）

支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（暮らし・にぎわい再生事業） （平成 21 年度～平成 24 年度）
事業開始・完了時期	平成 17 年度～平成 24 年度 【済】
事業概要	沼津駅北口の旧国鉄施設跡地を活用して、展示イベント施設、市民交流施設等を整備し、魅力とにぎわいのある広域的都市拠点を整備。
目標値・最新値	（目標値）76,700 人 （最新値）77,841 人
達成状況	目標達成
達成した（出来なかった）理由	平成 24 年度に施設が完成し、平成 25 年 6 月に展示イベント施設「キラメッセぬまづ」として供用開始したため。
計画終了後の状況（事業効果）	平成 26 年度の利用者は約 37 万人に上り、にぎわいの創出と来街者・歩行者通行量の増加に寄与している。
沼津駅北拠点地区暮らし・にぎわい再生事業の今後について	実施済み

- ②. 東部コンベンションセンター整備事業（会議場施設ホテル）（静岡県・大和ハウス工業(株)）

支援措置名及び支援期間	—
事業開始・完了時期	平成 17 年度～平成 25 年度 【済】
事業概要	沼津駅北口の旧国鉄施設跡地を活用して、国際的な会議にも対応できる会議場施設やホテル等を整備し、魅力とにぎわいのある広域的都市拠点を整備。

目標値・最新値	(目標値) 76,700 人 (最新値) 77,841 人
達成状況	目標達成
達成した(出来なかった)理由	平成 25 年度末に施設が完成し、平成 26 年 4 月にホテルが開業、7 月には会議場施設も供用開始したため。
計画終了後の状況(事業効果)	展示場施設、会議場、ホテルからなる総合コンベンション施設「プラサ ヴェルデ」の開設により、来街者・歩行者通行量の増加が期待される。
東部コンベンションセンター整備事業の今後について	実施済み

③. えき～みなとぶらりまち歩き事業(沼津市)

支援措置名及び支援期間	—
事業開始・完了時期	平成 20 年度～ 【実施中】
事業概要	沼津駅から沼津港の間に、観光イベント情報や一時休憩ができるスペース「まちかどすぽっと」を提供。また、自転車タクシーや人力車の運行により回遊性向上を図る。
目標値・最新値	(目標値) 76,700 人 (最新値) 77,841 人
達成状況	目標達成
達成した(出来なかった)理由	「まちかどすぽっと」を 4 か所設置し、まちあるきする利用者への情報発信を行ったため。
計画終了後の状況(事業効果)	沼津駅～沼津港間 2.2km のまちあるきに楽しみを与えることにより、港のにぎわいをまちなかへ波及させている。
えき～みなとぶらりまち歩き事業の今後について	「まちかどすぽっと」の設置と合わせて、まちあるきマップを作成し、まちなか回遊性の利便性を高める。

④. 我入道の渡し船管理運営事業(沼津市)

支援措置名及び支援期間	—
事業開始・完了時期	平成 9 年度～ 【実施中】
事業概要	千本浜から志下海岸までの水辺を歩く文学探訪の道「潮の音プロムナード」のコースに彩りを添える重要な観光資源としての役割とともに、沼津港と中心市街地に回遊性を創出するため、渡し船を運航する。
目標値・最新値	(目標値) 76,700 人 (最新値) 77,841 人
達成状況	目標達成
達成した(出来なかった)理由	沼津港を中心に点在する観光・文化施設を集約し、沼津港周辺の観光・文化体験を提供する素材として期間限定の共通入場券を発行するなど、回遊性向上に寄与したため。
計画終了後の状況(事業効果)	平成 26 年度の利用者数は 2,260 人であり、中心市街地を流れる狩野川を活用した独自の観光スポットとして、中心市街地の魅力発信や、沼津港との連携によるにぎわいの創出に寄与している。
我入道の渡し船管理運営事業の	引き続き事業を継続する。

今後について	
--------	--

⑤. 沼津駅沼津港間連携事業（沼津市、沼津港交通対策実行委員会）

支援措置名及び支援期間	—
事業開始・完了時期	平成 21 年度～ 【実施中】
事業概要	沼津駅と沼津港を結ぶ無料シャトルバスの運行。
目標値・最新値	(目標値) 76,700 人 (最新値) 77,841 人
達成状況	目標達成
達成した（出来なかった）理由	利用者アンケート調査の結果から、平成 25 年度は約 20%の利用者が、平成 26 年度は 28%の利用者が、沼津港のあと駅周辺の店へ行くと回答しており、中心市街地への回遊性向上に寄与したため。
計画終了後の状況（事業効果）	沼津駅～沼津港間の動線の強化により、沼津港のにぎわいを中心市街地に波及させている。（平成 26 年度は 68 日運行し、約 20,000 人の利用があった。）
沼津駅沼津港間連携事業の今後について	沼津港への来訪者を中心市街地へ呼び込むため、車内アナウンスにより、まちのイベント情報や個店の魅力などを提供していく。

⑥. 高速バスの運行（各バス会社）

支援措置名及び支援期間	—
事業開始・完了時期	平成 18 年度～ 【実施中】
事業概要	沼津駅（一部路線は沼津港への乗り入れあり）と東京方面、関西方面を結ぶ高速バスの運行。
目標値・最新値	(目標値) 76,700 人 (最新値) 77,841 人
達成状況	目標達成
達成した（出来なかった）理由	東京方面や関西方面から本市中心市街地への移動に寄与したため。
計画終了後の状況（事業効果）	多様な交通手段を確保することで、中心市街地への来街者数の増加が期待される。
高速バスの運行事業の今後について	引き続き事業を継続していく。

⑦. 中央公園整備事業（沼津市）

支援措置名及び支援期間	社会資本総合交付金（都市再生整備計画事業）
事業開始・完了時期	平成 26 年度～平成 28 年度 【未着手】
事業概要	セントラルパーク構想において、憩いやにぎわいの場として位置づけられる中央公園を、健康づくりや憩いの場、まち歩きの出発点として多くの方々が利用できるよう整備する。
目標値・最新値	(目標値) 76,700 人 (最新値) 77,841 人
達成状況	—
達成した（出来	未着手

なかった)理由	
計画終了後の状況(事業効果)	未着手
中央公園整備事業の今後について	公園整備により狩野川の水辺空間と一体的な利用が促進され、来街者の増加やまちの回遊性向上が見込まれるが、整備内容の調整等に時間を要し、事業に遅れが生じており、早期に整備計画を取りまとめる必要がある。

⑧. 三園橋アンダーパス整備(沼津市)

支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画) (平成24年度)
事業開始・完了時期	平成24年度【済】
事業概要	狩野川左岸経路の三園橋にアンダーパスを設置する事業。
目標値・最新値	(目標値)76,700人 (最新値)77,841人
達成状況	目標達成
達成した(出来なかった)理由	平成25年5月にアンダーパスが開通し、歩行者や自転車通行の安全が確保されたため。
計画終了後の状況(事業効果)	狩野川左岸経路の連続的な活用が可能となり、まちの回遊性向上や歩行者通行量の増加が見込まれる。
三園橋アンダーパス整備事業の今後について	実施済み

⑨. 狩野川右岸修景事業(沼津市)

支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画) (平成22年度～平成26年度)
事業開始・完了時期	平成22年度～平成26年度【済】
事業概要	狩野川河川敷、護岸部などの河川空間の整備
目標値・最新値	(目標値)76,700人 (最新値)77,841人
達成状況	—
達成した(出来なかった)理由	平成23年6月に狩野川大手町護岸修景工事が完了し、平成26年11月に狩野川大手町護岸照明付転落防止柵を設置し工事が完了した。
計画終了後の状況(事業効果)	貴重な市街地の水辺空間の親水性が高まり、中央公園と一体的な活用の促進により、来街者の増加や回遊性の向上が期待される。
狩野川右岸修景事業の今後について	狩野川右岸堤の動線整備により、ウォーキングストリートや文化、健康をテーマに交流を生み出すコミュニティスペースとして活用が図れる。

⑩. 町方町・大門町・通横町地区第一種市街地再開発事業(町方町・大門町・通横町地区第一種市街地再開発組合)

支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金(市街地再開発事業等) (平成24年度～平成26年度)
事業開始・完了時期	平成24年度～平成29年度【未】
事業概要	老朽化した既存商店街を市街地再開発事業により再生し、居住・商業・コミュニティなどの都市的な生活関連サービス機能で複合的に構成され

	た上質な空間を創造する。
目標値・最新値	(目標値) 76,700 人 (最新値) 77,841 人
達成状況	—
達成した(出来なかった)理由	事業完了が平成 29 年度を予定しているため、計画期間においては効果が得られていない。
計画終了後の状況(事業効果)	民間と行政が連携した新しいまちづくりとして緑豊かなパブリックスペース、魅力ある商業、快適な都市住宅の創造が見込まれる。
町方町・大門町・通横町地区第一種市街地再開発事業の今後について	平成 27 年 4 月 6 日に都市計画決定され、今後本格的に事業が開始される。

⑪. 沼津駅南第一地区土地区画整理事業(沼津市)

支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金(都市再生区画整理事業) (平成 22 年度～平成 26 年度)
事業開始・完了時期	平成 14 年度～平成 31 年度 【未】
事業概要	鉄道高架事業に併せ、駅南地区の土地区画整理事業を実施し、面的かつ一体的な整備を行うことで、静岡県東部地域における広域的な中核拠点の形成、中心市街地の活性化を図る事業。A=3.3ha
目標値・最新値	(目標値) 76,700 人 (最新値) 77,841 人
達成状況	—
達成した(出来なかった)理由	事業完了が平成 31 年度を予定しているため、計画期間においては効果が得られていない。
計画終了後の状況(事業効果)	平成 26 年度末の進捗率は 65.3%。 良好な宅地の形成による定住人口の増加やコミュニティ道路の整備による回遊性の向上が期待される。 仮換地案の調整や鉄道施設の移転協議、建物移転の調整に時間を要し、事業期間を延伸したため、進捗に支障が生じている。今後、事業費の確保と計画的な宅地造成に努め、早期の事業効果の発現を目指す。
沼津駅南第一地区土地区画整理事業の今後について	引き続き事業を継続する。

⑫. 沼津駅南第二地区土地区画整理事業(沼津市)

支援措置名及び支援期間	—
事業開始・完了時期	平成 26 年度～平成 36 年度 【未着手】
事業概要	鉄道高架事業に併せ、駅南地区の土地区画整理事業を実施し、公共施設の整備改善、宅地の利用増進、土地の有効活用等、面的かつ一体的な整備を行うことで、静岡県東部地域における広域的な中核拠点の形成を目指し、中心市街地の活性化を図る事業
目標値・最新値	(目標値) 76,700 人 (最新値) 77,841 人
達成状況	—
達成した(出来)	未着手

なかった)理由	
計画終了後の状況(事業効果)	未着手
沼津駅南第二地区土地区画整理事業の今後について	現在未着手であり、鉄道高架事業の進捗を見据えながら事業着手の時期を検討している。

⑬. 静岡県東部拠点第一地区土地区画整理事業(独立行政法人都市再生機構)

支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金(地域活力基盤創造計画) (平成21年度~平成24年度)
事業開始・完了時期	平成11年度~平成29年度【済】
事業概要	鉄道高架事業に併せ、駅北地区の土地区画整理事業を実施し、面的かつ一体的な整備を行うことで、静岡県東部地域における広域的な中核拠点の形成を目指し、中心市街地の活性化を図る事業。A=12.1ha
目標値・最新値	(目標値)76,700人 (最新値)77,841人
達成状況	目標達成
達成した(出来なかった)理由	宅地及び公共施設の整備、換地における建物更新による都市的居住の形成や歩行者通行量の増加が図られたため。
計画終了後の状況(事業効果)	区画整理事業は完了し、道幅が広がるなど快適な居住空間などが形成された。なお、換地処分を公告し、平成29年度まで清算事務を行う。
静岡県東部拠点第一地区土地区画整理事業の今後について	実施済み

⑭. 静岡県東部拠点第二地区土地区画整理事業(沼津市)

支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金(道路事業(区画)) (平成21年度~平成30年度)
事業開始・完了時期	平成19年度~平成36年度【未】
事業概要	鉄道高架事業に併せ、拠点エリアと新車両基地エリアの土地区画整理事業を実施し、面的かつ一体的な整備を図り、静岡県東部地域における広域的な中核拠点の形成を目指し、中心市街地の活性化を図る事業。A=18.5ha(うち拠点エリア12.5ha)
目標値・最新値	(目標値)76,700人 (最新値)77,841人
達成状況	—
達成した(出来なかった)理由	事業完了が平成36年度を予定しているため、計画期間においては効果が得られていない。
計画終了後の状況(事業効果)	平成26年度末の進捗状況は10.4%。今後、鉄道高架事業の進捗を見据えながら、拠点エリアの鉄道施設を移転し、宅地造成・公共施設整備に着手する。良好な宅地の造成や拠点街区における高次都市機能の導入により、定住人口・交流人口の増加に寄与したため。
静岡県東部拠点第二地区土地区画整理事業の今後について	引き続き事業を継続する。

⑮. 中心市街地活性化出店促進事業（沼津市）

支援措置名及び支援期間	—
事業開始・完了時期	平成 19 年度～ 【実施中】
事業概要	中心市街地において 3 か月以上空店舗になっている路面店への出店に対し、改装費等の一部を補助する。
目標値・最新値	(目標値) 76,700 人 (最新値) 77,841 人
達成状況	目標達成
達成した（出来なかった）理由	平成 26 年度まで 23 件の出店を補助し、まちの活性化に寄与したため。
計画終了後の状況（事業効果）	意欲ある事業者を支援し、空店舗を解消することで商業の活性化・まちの魅力向上に寄与している。
中心市街地活性化出店促進事業の今後について	事業効果の向上を図るため、民間、有識者や商工会議所と検討し制度の見直しを進めていく。また、商工会議所と共に事業者に対し、定期的なヒアリングを行い、経営状況の把握などに努める。

⑯. 空店舗対策事業（沼津商工会議所）

支援措置名及び支援期間	—
事業開始・完了時期	平成 20 年度～ 【実施中】
事業概要	定期的に商店街を巡回し、空店舗の状況を調査することで、空店舗情報を一元的に集約管理する。
目標値・最新値	(目標値) 76,700 人 (最新値) 77,841 人
達成状況	目標達成
達成した（出来なかった）理由	空店舗情報を管理し、空店舗率の高い商店街については、助言などを行い対策に努めたため。
計画終了後の状況（事業効果）	店舗の状況やまちの現状を把握することで、出店希望者への情報提供などが効果的に行われている。
空店舗対策事業の今後について	官民一体となった空店舗対策を実施していく。

⑰. テナントミックス運営事業（沼津仲見世商店街振興組合）

支援措置名及び支援期間	—
事業開始・完了時期	平成 21 年度～ 【実施中】
事業概要	空店舗を活用し、商店街によるテナントミックスを実施する事業。
目標値・最新値	(目標値) 76,700 人 (最新値) 77,841 人
達成状況	目標達成
達成した（出来なかった）理由	平成 26 年度までに 3 件のテナントを誘致、歩行者通行量の増加に寄与したため。
計画終了後の状況（事業効果）	今後も商店街と消費者のニーズに合致したテナントの誘致を検討していく。
テナントミックス運営事業の今後について	引き続き事業を継続していく。

後について	
⑱. 緑化推進（あげつちおかみさん会、アーケード名店街、まちの情報館、花華の会ほか）	
支援措置名及び支援期間	—
事業開始・完了時期	【実施中】
事業概要	商店街の各緑化推進団体等が、花壇の植え替えや維持管理を実施し、花と緑があふれる中心市街地づくりを進める事業。
目標値・最新値	（目標値）76,700人 （最新値）77,841人
達成状況	目標達成
達成した（出来なかった）理由	商店街等の活動により、季節に応じた彩り豊かな花木を管理することで、まちの憩いの空間や安らぎの空間を提供したため。
計画終了後の状況（事業効果）	地域ごとに工夫を凝らした緑化の推進により、まちに安らぎとうるおいが生まれている。
緑化推進事業の今後について	引き続き事業を継続していく。
⑲. 中央公園にぎわい創出事業（numazoo 実行委員会）	
支援措置名及び支援期間	—
事業開始・完了時期	平成 20 年度～ 【済】
事業概要	若手市民有志による、手づくりイベントの実施。毎月第 4 土曜日に中央公園において、音楽ライブやワークショップを行う事業。
目標値・最新値	（目標値）76,700人 （最新値）77,841人
達成状況	目標達成
達成した（出来なかった）理由	民間主体による中央公園の利用が高まった。
計画終了後の状況（事業効果）	定期的なイベントによるにぎわいの創出に加え、ワークショップや情報発信を通してまちの魅力が再認識された。また、実行委員会の理念や活動が多くのフォロワーを生み、多様な取組が展開されている。
中央公園にぎわい創出事業の今後について	実施済み
⑳. 四季彩まちづくり推進事業（沼津市中心市街地活性化協議会）	
支援措置名及び支援期間	まちづくり交付金 （平成 17 年度～平成 21 年度）
事業開始・完了時期	平成 17 年度～ 【実施中】
事業概要	商店街等が連携して展開する、花いっぱいのもちづくり運動や七夕飾り、イルミネーションなど季節ごとのイベントを支援する。
目標値・最新値	（目標値）76,700人 （最新値）77,841人
達成状況	目標達成
達成した（出来なかった）理由	まちのにぎわい創出回遊性向上に寄与したため。

計画終了後の状況（事業効果）	季節を感じるイベントの実施によりまちのにぎわいづくり、話題づくりに貢献するとともに、美しいまちなみの創出につながっている。
四季彩まちづくり推進事業の今後について	引き続き事業を実施していく。

⑳. アーケード名店街ついたち市（アーケード名店街）

支援措置名及び支援期間	—
事業開始・完了時期	平成 17 年度～ 【実施中】
事業概要	商店街の歩道において、毎月 1 日に朝市を開催。地域住民の手づくりの品や新鮮な魚介類等の出店がならぶ。
目標値・最新値	（目標値）76,700 人 （最新値）77,841 人
達成状況	目標達成
達成した（出来なかった）理由	毎月 1 日に商店街によるイベント開催。休日平日問わず多くの来客者がある。
計画終了後の状況（事業効果）	常時商店街で販売している商品と構成が異なる商品を購入できることもあり、毎月大きなにぎわいを見せ、商店街の集客に結びついている。
アーケード名店街ついたち市事業の今後について	引き続き事業を継続していく。

㉑. あげつち稲荷市（あげつちおかみさん会）

支援措置名及び支援期間	—
事業開始・完了時期	平成 21 年度～ 【実施中】
事業概要	商店街の歩道において、毎月 15 日に定期市を開催。地元のおかみさん会が集めた全国各地の特産品や地場産品などがならぶ。
目標値・最新値	（目標値）76,700 人 （最新値）77,841 人
達成状況	目標達成
達成した（出来なかった）理由	毎月 15 日に商店街によるイベント開催。休日平日問わず多くの来客者があったため。
計画終了後の状況（事業効果）	毎月の市のにぎわいという直接効果もさることながら、普段店舗の中におかみさんが販売を担当しているため、訪れる買い物客とコミュニケーションが生まれ、商店街への集客に結びついている。
あげつち稲荷市事業の今後について	引き続き事業を継続していく。

㉒. 沼津夏まつり（沼津夏まつり実行委員会）

支援措置名及び支援期間	—
事業開始・完了時期	昭和 23 年度～ 【実施中】
事業概要	中心市街地で歩行者天国イベント等を実施し、中央公園では子供対象の

	イベントなどを開催している。また、狩野川と、夏の夜空が競演する沼津ならではの花火大会を実施し、沼津の観光振興を図るとともに、地域経済の活性化を促進する。
目標値・最新値	(目標値) 76,700 人 (最新値) 77,841 人
達成状況	目標達成
達成した(出来なかった)理由	沼津市最大のイベントとして、毎年多くの来客があることから、各商店街と夏祭りに合わせた販促活動を行っており、にぎわい創出と回遊性向上に寄与したため。
計画終了後の状況(事業効果)	沼津の夏の風物詩として市民に愛され続けている。また、市内外から多くの来街者が訪れ中心市街地のにぎわいが創出されている。平成 26 年度は約 31 万人の人出があった。
沼津夏まつり事業の今後について	引き続き事業を継続していく。

⑳. よさこい東海道開催事業(よさこい沼津まつり実行委員会)

支援措置名及び支援期間	—
事業開始・完了時期	平成 9 年度～ 【実施中】
事業概要	毎年 11 月に商店街と狩野川階段堤を主会場としたよさこい祭りを開催。全国各地から踊り子が集まり、華やかな衣装と華麗な舞で多くの観客を魅了している。
目標値・最新値	(目標値) 76,700 人 (最新値) 77,841 人
達成状況	目標達成
達成した(出来なかった)理由	各商店街を会場として踊り子が華麗な舞を披露し、多くの観客が商店街に訪れているため。
計画終了後の状況(事業効果)	沼津市内外から多くの来場者を集め、まちの活性化につながっている。また、事業の運営には商業者が主体的に携わっており、まちの一体感が生まれている。平成 26 年度の踊り子数は約 3000 人、観客数は約 10.8 万人。
よさこい東海道開催事業の今後について	引き続き事業を継続していく。

㉑. ぬまづサマーガーデン(ぬまづサマーガーデン実行委員会)

支援措置名及び支援期間	—
事業開始・完了時期	平成 4 年度～平成 24 年度 【済】
事業概要	狩野川の階段堤で多彩なゲストを招いてピアガーデンとウォーターフロントコンサートを開催することにより、中心市街地のにぎわいを創出する事業。
目標値・最新値	(目標値) 76,700 人 (最新値) 77,841 人
達成状況	目標達成
達成した(出来なかった)理由	沼津の夏の夜を熱く彩るイベントとして、市内のみならず市外からも多くの来場者を集めたため。
計画終了後の状況	沼津の観光振興、地域経済の活性化に寄与した。

況（事業効果）	
ぬまづサマーガーデン事業の今後について	イベントの見直しを行ったため、平成 24 年度に事業を終了した。

⑳. まちあるきステーション運営事業（沼津市、(株)SBS プロモーション）

支援措置名及び支援期間	ふるさと雇用再生特別基金事業 （平成 22 年度～平成 23 年度）
事業開始・完了時期	平成 22 年度～ 【実施中】
事業概要	中央公園内に、ランニングやウォーキングなどの健康づくりの活動拠点機能と、まちの情報発信機能を備えた施設を開設・運営するとともに、各種イベントを開催する。
目標値・最新値	（目標値）76,700 人 （最新値）77,841 人
達成状況	目標達成
達成した（出来なかった）理由	かのがわハーフマラソン等のイベントに多数の参加者があり、まちのにぎわい創出と回遊性向上に寄与したため。
計画終了後の状況（事業効果）	中心市街地に新たな機能が導入されたことにより、新たな来街者層の獲得に寄与するとともに、中央公園と狩野川界隈の活動拠点としても機能している。平成 26 年度は約 12,000 人の利用があった。
まちあるきステーション運営事業の今後について	中央公園を拠点として新たな取り組みを検討していく。

㉑. ものづくり体験館運営事業（沼津市、(株)SBS プロモーション）

支援措置名及び支援期間	ふるさと雇用再生特別基金事業 （平成 22 年度～平成 23 年度）
事業開始・完了時期	平成 22 年度～平成 24 年度 【済】
事業概要	商店街の空店舗を活用し、各種のものづくり技能を常時、見て、触れて学ぶことができる施設を開設。常設展示のほか、週末を中心に各種ものづくりイベントを開催した。
目標値・最新値	（目標値）76,700 人 （最新値）77,841 人
達成状況	目標達成
達成した（出来なかった）理由	小中学生や親子を対象に商店街の空店舗で、ものづくり体験教室を開催しまちのにぎわい創出に寄与したため。
計画終了後の状況（事業効果）	新たな空店舗活用の可能性のモデルを示した形となり、さらに、物づくりの啓発にもつながった。
ものづくり体験館運営事業の今後について	当初の予定通り、平成 22 年度～平成 24 年度実施し、既に終了している。

㉒. 狩野川にぎわい創出事業（沼津上土町周辺狩野川河川空間利用調整協議会）

支援措置名及び支援期間	—
事業開始・完了時期	平成 25 年度～ 【実施中】

事業概要	狩野川河川空間の利用調整と利用促進を図る協議会の運営を通じて、河川空間に市民の憩いの場、にぎわいの場を創出する。
目標値・最新値	(目標値) 76,700 人 (最新値) 77,841 人
達成状況	目標達成
達成した(出来なかった)理由	中心市街地に存在する水辺を利用したにぎわい創出に寄与したため。
計画終了後の状況(事業効果)	オープンカフェや水辺のステージ、ローカルマーケットの開催等により新たなにぎわい空間が創出された。(狩野川右岸階段堤等が「都市・地域再生等利用区域」(平成26年2月)に指定され、河川敷での営業行為が可能となった。)
狩野川にぎわい創出事業の今後について	狩野川をにぎわいの場の空間として引き続き事業を継続していく。

⑳. まちなかアウトドア発信事業(沼津市、シーツデー)

支援措置名及び支援期間	起業支援型地域雇用創造事業 (平成25年度)
事業開始・完了時期	平成25年度 【済】
事業概要	上土商店街の空店舗を活用し、沼津の魅力を満喫できるライフスタイルの情報発信や海・山・川に囲まれた沼津の中心市街地のロケーションを活かしたアクティビティを提供する施設を運営する。
目標値・最新値	(目標値) 76,700 人 (最新値) 77,841 人
達成状況	目標達成
達成した(出来なかった)理由	狩野川河川空間を利用したまちの魅力向上に寄与したため。
計画終了後の状況(事業効果)	まちなかとアウトドアというこれまでとは違った視点で本市の中心市街地の魅力を顕在化させ、新たな来街者層の獲得に寄与している。
まちなかアウトドア発信事業の今後について	実施済み

㉑. 沼津自慢フェスタ開催事業(沼津自慢フェスタ実行委員会)

支援措置名及び支援期間	—
事業開始・完了時期	平成22年度～ 【実施中】
事業概要	中央公園を会場に、沼津が誇る物産、食文化、音楽等の魅力を市内外に広くPRするため、ビアガーデンや音楽ステージなど、食べて、飲んで楽しめるイベントを開催。
目標値・最新値	(目標値) 76,700 人 (最新値) 77,841 人
達成状況	目標達成
達成した(出来なかった)理由	まちのにぎわい創出に貢献するとともに、沼津の物産やまちの魅力を発信し、来街者の増加に寄与したため。
計画終了後の状況(事業効果)	沼津が誇るべき酒、食、人を集結させ、多くの来場者が楽しめるイベントとして定着している。
沼津自慢フェスタ開催事業の今後について	引き続き、「美酒・美食」をテーマに、沼津をPRしていく。

後について	
③①. コミュニティカフェ運営事業（株LSC 沼津みなみ）	
支援措置名及び支援期間	—
事業開始・完了時期	平成 23 年度～ 【実施中】
事業概要	商店街の空店舗を活用してカフェを開設し、地域コミュニティ創出の拠点とするとともに、店内に来客が自由に使えるタブレット端末を設置し、端末操作やSNS活用講座等を開催。
目標値・最新値	（目標値）76,700 人 （最新値）77,841 人
達成状況	目標達成
達成した（出来なかった）理由	商店街の空店舗において、随時ワークショップにより活用講座等を開催したことにより、来街者の増加に寄与したため。
計画終了後の状況（事業効果）	頻繁にワークショップを開催することで地域コミュニティの新たな拠点として機能し、来街者の増加に寄与している。
コミュニティカフェ運営事業の今後について	引き続き事業を継続していく。
③②. 沼津ナイトマーケット（沼津ナイトマーケット実行委員会）	
支援措置名及び支援期間	—
事業開始・完了時期	平成 23 年度～ 【実施中】
事業概要	夜間の商店街の道路上に食や音楽を提供する夜市を開催する。
目標値・最新値	（目標値）76,700 人 （最新値）77,841 人
達成状況	目標達成
達成した（出来なかった）理由	夜の稲荷市として来街者の増加に寄与したため。
計画終了後の状況（事業効果）	「川・街・食をゆったりと楽しむ夏の沼津の時間」をテーマに、商店街界隈の飲食店のテイクアウトメニューを路上に設置したテーブルで楽しむという仕掛けが好評を博している。
沼津ナイトマーケット事業の今後について	引き続き事業を継続していく。
③③. 沼津アート名店街事業（アーケード名店街）	
支援措置名及び支援期間	—
事業開始・完了時期	平成 24 年度～ 【実施中】
事業概要	地域の芸術家が商店街の店舗のショーウィンドーや路上のポールにオリジナル作品を展示するイベントを開催。
目標値・最新値	（目標値）76,700 人 （最新値）77,841 人
達成状況	—

達成した（出来なかった）理由	芸術家の創作・発表の場を創出するとともにまちと芸術の関わりを深めるきっかけとなったことに加え、アートに着目したこれまでにないイベントであり、新たな来街者層の創出に貢献したため。
計画終了後の状況（事業効果）	現在、事業を一時休止している。
沼津アート名店街事業の今後について	今後も事業の継続について検討していく。

③4. 沼津バル「呑み歩いていいとも！（いいとも！実行委員会）

支援措置名及び支援期間	—
事業開始・完了時期	平成 24 年度～ 【実施中】
事業概要	中心市街地の飲食店をはしごするバルイベントの開催や、呑み歩きパスポートの発行を通じてまちの魅力をPRする。
目標値・最新値	（目標値）76,700 人 （最新値）77,841 人
達成状況	目標達成
達成した（出来なかった）理由	沼津バルは、参加店舗が当初44店舗から72店舗まで規模拡大するなど、にぎわい創出と回遊性向上に寄与しているため。
計画終了後の状況（事業効果）	イベント期間を通じて利用できる呑み歩きパスポートを5万部発行し、まちのにぎわいの創出、回遊性の向上に寄与している。
沼津バル「呑み歩いていいとも！事業の今後について	引き続き事業を継続していく。

③5. 沼津まちづくりゼミナール（沼津商工会議所）

支援措置名及び支援期間	—
事業開始・完了時期	平成 25 年度～ 【実施中】
事業概要	商店街の店舗において、個店の魅力のPRや新規顧客・リピーターの獲得を目的に店員が講師となる無料の講座を開催。
目標値・最新値	（目標値）76,700 人 （最新値）77,841 人
達成状況	目標達成
達成した（出来なかった）理由	個店の魅力がよりPRされることにより、来街者の増加に寄与したため。
計画終了後の状況（事業効果）	講座の開催により自店の魅力をPRし、個店のファンを増やすことで来街の動機を創出し、商店街の活性化や歩行者通行量の増加に寄与している。
沼津まちづくりゼミナール事業の今後について	引き続き事業を継続していく。

3. 今後について

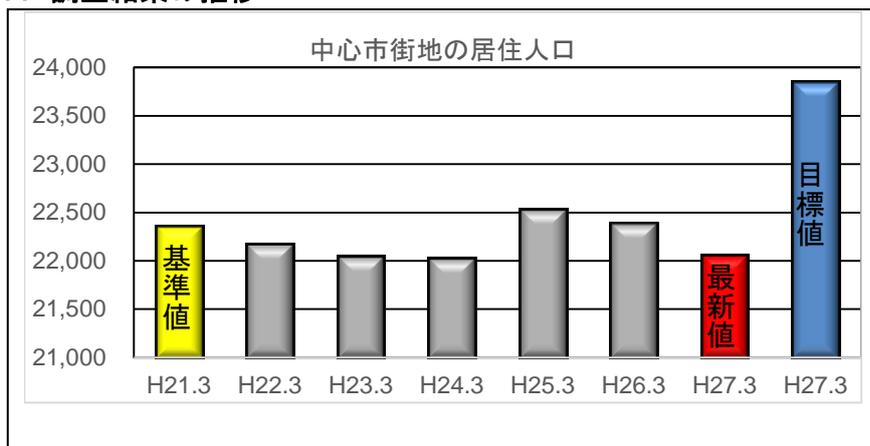
長年減少傾向が続いていた中心市街地の歩行者自転車通行量は、平成 24 年度から増加に転じ、平成 26 年度も目標値を上回っている。中央公園や狩野川河川空間を利用したにぎわい創出の取り組みや、プラサヴェルデのオープンなど計画事業の実施による効果が発現したものとする。

今後も引き続き、各種市民団体、商店街などが行う各種イベント等の支援、中心市街地に隣接する、狩野川・香貫山・千本松原などの自然資源の活用、新たな拠点であるプラサヴェルデを核とした交流の推進、「駅前にぎわい広場」「中央公園」「狩野川右岸階段堤」「沼津港」との連携強化などにより、中心市街地の交流人口の拡大を図っていく。

個別目標

「中心市街地の居住人口」 ※目標設定の考え方基本計画 P62～P66 参照

1. 調査結果の推移



年	(単位)
H21.3	22,357 (基準年値)
H22.3	22,174
H23.3	22,042
H24.3	22,024
H25.3	22,537
H26.3	22,389
H27.3	22,061
H27.3	23,850 (目標値)

※調査方法：中心市街地区域での住民基本台帳登録人口
 ※調査月：平成27年3月末時点調査、4月取りまとめ
 ※調査主体：沼津市
 ※調査対象：中心市街地内居住者

2. 目標達成に寄与する主要事業の計画終了後の状況（事業効果）

①. 魚町共同住宅等建設事業（東レ建設株）

支援措置名及び支援期間	—
事業開始・完了時期	平成19年度～平成22年度 【済】
事業概要	RC造地上15階建、総戸数80戸の分譲住宅、店舗2区画、事務所3区画を建設。
目標値・最新値	(目標値) 23,850人 (最新値) 22,061人 (魚町の人口：186人)
達成状況	目標未達成
達成した（出来なかった）理由	—
計画終了後の状況（事業効果）	魚町の人口は平成21年度（基準年度）から152人増加した。
魚町共同住宅等建設事業の今後について	実施済み

②. 高島町共同住宅等建設事業（大和ハウス工業株静岡支店）

支援措置名及び支援期間	—
事業開始・完了時期	平成20年度～平成21年度 【済】
事業概要	RC造地上13階建、総戸数46戸の分譲住宅を建設。
目標値・最新値	(目標値) 23,850人 (最新値) 22,061人 (高島町人口：1,297人)
達成状況	目標未達成
達成した（出来なかった）理由	—

計画終了後の状況（事業効果）	高島町の人口は平成 21 年度（基準年度）から 94 人増加した。
高島町共同住宅等建設事業の今後について	実施済み

③. 高沢町共同住宅等建設事業（フジ都市開発株）

支援措置名及び支援期間	—
事業開始・完了時期	平成 20 年度～平成 21 年度 【済】
事業概要	RC造地上 11 階建、総戸数 30 戸の分譲住宅を建設。
目標値・最新値	（目標値）23,850 人 （最新値）22,061 人（高沢町人口：1,798 人）
達成状況	目標未達成
達成した（出来なかった）理由	—
計画終了後の状況（事業効果）	高沢町の人口は平成 21 年度（基準年度）から 45 人増加した。
高沢町共同住宅等建設事業の今後について	実施済み

④. 浅間町共同住宅等建設事業（静岡鉄道株）

支援措置名及び支援期間	—
事業開始・完了時期	平成 21 年度～平成 23 年度 【済】
事業概要	RC造地上 13 階建、総戸数 95 戸の分譲住宅と店舗 1 店を建設。
目標値・最新値	（目標値）23,850 人 （最新値）22,061 人（浅間町人口：239 人）
達成状況	目標未達成
達成した（出来なかった）理由	—
計画終了後の状況（事業効果）	浅間町の人口は平成 21 年度（基準年度）から 207 人増加した。
浅間町共同住宅等建設事業の今後について	実施済み

⑤. 米山町共同住宅等建設事業（ヨシコン株）

支援措置名及び支援期間	—
事業開始・完了時期	平成 22 年度～平成 23 年度 【済】
事業概要	RC造地上 6 階建、総戸数 37 戸の分譲住宅を建設。
目標値・最新値	（目標値）23,850 人 （最新値）22,061 人（米山町人口：1,013 人）
達成状況	目標未達成
達成した（出来	—

なかった)理由	
計画終了後の状況(事業効果)	米山町の人口は平成21年度(基準年度)から21人増加した。
米山町共同住宅等建設事業の今後について	実施済み

⑥. 大手町二丁目共同住宅等建設事業(大和ハウス工業株)

支援措置名及び支援期間	—
事業開始・完了時期	平成22年度～平成23年度【済】
事業概要	RC造地上14階建、総戸数39戸の分譲住宅を建設。
目標値・最新値	(目標値)23,850人 (最新値)22,061人(大手町二丁目人口:458人)
達成状況	目標未達成
達成した(出来なかった)理由	—
計画終了後の状況(事業効果)	大手町二丁目の人口は平成21年度(基準年度)から120人増加した。
大手町二丁目共同住宅等建設事業の今後について	実施済み

⑦. 沼津駅南第一地区土地区画整理事業(沼津市)【再掲】P11参照

⑧. 静岡東部拠点第一地区土地区画整理事業(独)都市再生機構)【再掲】P12参照

⑨. 沼津駅周辺人にやさしいまちづくり推進事業(沼津市)

支援措置名及び支援期間	—
事業開始・完了時期	平成19年度～【済】
事業概要	歩道拡幅、段差解消、平坦性の確保・誘導ブロックの設置、改良等、沼津駅周辺の交通環境のバリアフリー化を推進。
目標値・最新値	(目標値)23,850人 (最新値)22,061人
達成状況	目標未達成
達成した(出来なかった)理由	—
計画終了後の状況(事業効果)	中心市街地の利便性・安全性の向上により、歩行環境の改善、居住環境の向上に寄与している。
沼津駅周辺人にやさしいまちづくり推進事業の今後について	実施済み

⑩. 自転車通行環境整備モデル地区事業(静岡県、沼津市)

支援措置名及び支援期間	道路事業(交通安全施設等整備(地区一括)統合補助事業) (平成20年度～平成21年度)
-------------	--

事業開始・完了時期	平成 20 年度～平成 21 年度 【済】
事業概要	自転車と歩行者の分離された歩行空間の整備。 自転車道L＝約150m、自転車歩行者道L＝約530m
目標値・最新値	(目標値) 23,850 人 (最新値) 22,061 人
達成状況	目標未達成
達成した(出来なかった)理由	—
計画終了後の状況(事業効果)	自転車道等の自転車と歩行者の分離された空間を整備するなど、交通弱者の安全確保を図り、歩行環境の改善、居住環境の向上に寄与している。
自転車通行環境整備モデル地区事業の今後について	実施済み

⑪. 沼津っ子ふれあいセンター運営事業(沼津市)

支援措置名及び支援期間	—
事業開始・完了時期	平成 15 年度～ 【実施中】
事業概要	沼津駅前乳幼児やその親たちが自由につどう場や、乳幼児の一時預かりや一時保育、育児相談などに加え、仕事と育児の両立を支援するファミリーサポートセンター機能を備えた施設を運営する。
目標値・最新値	(目標値) 23,850 人 (最新値) 22,061 人
達成状況	目標未達成
達成した(出来なかった)理由	—
計画終了後の状況(事業効果)	中心市街地にある数少ない乳幼児の一時保育所として機能を果たしている。(平成 26 年度は 18,386 人の利用があった。)
沼津っ子ふれあいセンター運営事業の今後について	引き続き事業を継続していく。

⑫. 緑化推進(あげつちおかみさん会、アーケード名店街、まちの情報館、花華の会ほか)【再掲】P14 参照

⑬. 四季彩まちづくり推進事業(沼津市中心市街地活性化協議会)【再掲】P14 参照

⑭. 沼津駅北拠点地区暮らし・にぎわい再生事業(展示イベント施設、市民交流施設、駐車施設)(沼津市)【再掲】P7 参照

⑮. 東部コンベンションセンター整備事業(会議場施設、ホテル)(静岡県・大和ハウス工業株式会社)【再掲】P7 参照

⑯. 沼津夏まつり(沼津夏まつり実行委員会)【再掲】P15 参照

⑰. よさこい東海道開催事業(よさこい沼津まつり実行委員会)【再掲】P16 参照

⑱. まちあるきステーション運営事業(沼津市、(株)SBSプロモーション)【再掲】P17 参照

⑲. 狩野川にぎわい創出事業(沼津上土町周辺狩野川河川空間利用調整協議会)【再掲】P17 参照

⑳. まちなかアウトドア発信事業(沼津市、シーツデー)【再掲】P18 参照

㉑. 沼津自慢フェスタ開催事業(沼津自慢フェスタ実行委員会)【再掲】P18 参照

3. 今後について

沼津駅南第一地区土地区画整理事業の進捗の遅れや東日本大震災以降、マンションの新築がないことなどから、計画期間中基準値を上回った年度もあるが、最終的には、計画当初に見込んでいた目標値を上回らなかった。さらに、周辺市町の都市化の進行や郊外への大型商業施設の立地等により、中心市街地の拠点性が相対的に低下している。

このような中、本格的な人口減少・少子高齢化社会を迎えた現在、都市の持続的な発展のためには、都市機能を計画的に集積したコンパクトなまちづくりが必要であり、買い物環境の充実、医療・福祉・教育・文化といった居住を支える機能の強化が必要であることから、地域一体となった取り組みを進めていく。